

国語科 授業デザイン

日	時：平成25年2月15日（金）第5校時（13時15分～14時00分）
学	年：本校小学部 4・5年
授業場所	：本校小学部 4・5年教室

1. 単元（題材）名

- 4年：作品のひみつをさぐろう 初雪のふる日
- 5年：構成や表現を工夫して書こう 物語を作ろう

2. 単元について

（1）児童について

本学級は4・5年生児童の複式学級であり、それぞれの子ども達が個々の病気・課題の克服を目指し学習している。在籍児童には病気や病気に伴う不登校により、学習空白のある児童も多く、同時に学習に対する意欲の低くなっている子もいるが、少人数指導、複式指導の利点を生かし指導を進めている。

本学級では、基本的に4・5年生の児童が同じ教室で学習を進める形を取っており、それらは全員が一つのねらいに向けて活動するものと、学年ごとのねらいに向けて活動するもの、一人ひとりが自分のねらいに向けて活動するものに大別できる。国語科の指導では、学年ごとのねらいに向けてそれぞれが京都市の指導計画に沿って学習を進める形をとっている。国語科では単元の配列により同単元異内容での指導を多く計画することができるので、子どもたちは主としてその形で学習を進めている。

複式指導では、自ら学ぶことが大切になってくる。本学級では、在籍児童は少人数であるが、子ども達の「自ら学ぶ」姿勢を育てるため、話し合いの場面を多く設定するようにしている。話し合うことによって、自分と他者との違いを確認し、互いのよさを認め合うことができるようになるからである。今回の単元では、「教師→子ども→教師→子ども→…」となりがちな発言の流れを「教師→子ども→子ども→…」とすることを意識して、「話し合う」ことについても留意して指導を進めたい。

（2）単元（題材）の目標

- （4年）・読後感の基になる場面の様子を表す言葉や表現に着目し、理由を挙げて発表し合うことができるようにする。
- （5年）・文章全体の構成の効果や表現の効果工夫して物語を書くことができるようにする。

3. 単元（題材）の指導計画（全10時間）

時	主な学習活動・内容		主な使用機器
第1時	(4年) ○今までに学習した物語を振り返り「読後感は作品のどこから来るのか考え、作品のひみつをさぐろう。」という学習課題を設定する。	(5年) ○教科書の写真から情景や様子を想像し、学習計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・IWB ・教材提示装置 ・TPC ・プロジェクター ・プロジェクター型IWB
第2時	<ul style="list-style-type: none"> ○作品の組み立てを考えながら読む。 ○「初雪のふる日」の読後感を交流する。 	○物語のおおまかなイメージを思い浮かべる。	<ul style="list-style-type: none"> ・IWB ・教材提示装置 ・TPC ・プロジェクター ・プロジェクター型IWB
第3時	○読後感につながる叙述を見つけるために、場面の様子や登場人物の様子・行動・気持ちに着目して読む。	○物語のおおまかな構成を考える。登場人物や人柄などを設定し、話の組み立てを決める。	<ul style="list-style-type: none"> ・IWB ・教材提示装置 ・TPC ・プロジェクター ・プロジェクター型IWB
第4時 (本時)	○読後感につながる叙述を見つけるために、場面の様子や登場人物の様子・行動・気持ちに着目して読む。	○表現を工夫して、物語を書く。観点に沿って、物語を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・IWB ・TPC ・プロジェクター ・プロジェクター型IWB
第5時	○読後感につながる叙述を見つけるために、場面の様子や登場人物の様子・行動・気持ちに着目して読む。	○表現を工夫して、物語を書く。観点に沿って、物語を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・IWB ・TPC ・プロジェクター ・プロジェクター型IWB
第6時	○「自分が見つけた作品のひみつ」を発表するための「ひみつ」をPPにまとめる。	○書いた物語をPPにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・IWB ・TPC ・プロジェクター ・プロジェクター型IWB
第7時	○「自分が見つけた作品のひみつ」について発表するための原稿をPPにまとめる。	○書いた物語をPPにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・IWB ・TPC ・プロジェクター ・プロジェクター型IWB

第8時	○ひみつを見付けるために、安房直子さんの他の作品を読む。	○物語作りの過程で、友達と読み合い、助言し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・IWB ・TPC ・プロジェクター ・プロジェクター型IWB
第9時	○5年生と合同発表会をする。読書交流会「『初雪のふる日』のひみつ」発表会を開く。	○4年生と合同発表会をする。作品を発表し、構成や表現など作品のよさを深く味わう。	<ul style="list-style-type: none"> ・IWB ・TPC ・プロジェクター ・プロジェクター型IWB
第10時	○5年生と合同発表会をする。読書交流会「『初雪のふる日』のひみつ」発表会を開く。	○4年生と合同発表会をする。作品を発表し、構成や表現など作品のよさを深く味わう。	<ul style="list-style-type: none"> ・IWB ・TPC ・プロジェクター ・プロジェクター型IWB

4. 本時の目標

(4年)

- ・視点に沿って言葉を分類し、言葉から感じたことや語感について気づいたことを書けるようにする。

(5年)

- ・自分の物語にふさわしい表現の効果を考えたり、確かめたりして物語を書けるようにする。

5. 本時の情報通信技術 (ICT) 活用

活用する場面	発表の場面
活用する者〔目的〕	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒〔学習したことを発表する〕 ・指導者〔教材の提示〕
活用するコンテンツ	コラボノート, デジタル教科書
活用する機器	IWB, TPC, プロジェクター, プロジェクター型IWB

6. 本時の展開①（4年）

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】
導 入	<p>一斉学習</p> <p>○本時の流れを説明する。</p> <p>「作品のひみつ」につながる叙述を見つけよう。</p>	<p>プロジェクター 型 IWB (指導者)</p>	<p>【新たに書きこまれたコラボノートのページが全体で共有できるようにする。】</p>
展 開	<p>個別学習</p> <p>○前時までにコラボノートに書き抜いた言葉や文を P117 を参考にしながら視点を決めて分類・整理する。</p>	<p>T P C (児童)</p>	<p>・「天気や天候」「色や触った感じ」「大きさや数」「繰り返し出てくる表現」「修飾語」「文末表現」などの視点の中からいくつかを選んで言葉を分類するようにする。</p>
ま と め	<p>協働学習</p> <p>○視点ごとに、気がついたことや思ったことをノートに書く。</p>	<p>プロジェクター 型 IWB (指導者)</p>	<p>・自分の読後感や今までの経験などに関連させて考えられるようにする。</p> <p>【分教室のコラボノートのページを確認できるようにする。】</p> <p>(評価の観点：読・言) 視点に沿って言葉を分類し、言葉から感じたことや語感について気付いたことを書いている。<コラボノート・ワークシート></p>
	<p>○気がついたことや思ったことを発表する。</p> <p>○次回の予告をする。</p>	<p>プロジェクター 型 IWB (指導者・児童)</p>	<p>・5年生に向けて発表できるようにする。</p> <p>【書きこまれたコラボノートのページが全体で共有できるようにする。】</p>

本時の展開②（5年）

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】
導 入	<p>一斉学習</p> <p>○本時の流れを説明する。</p> <p>表現を工夫して、物語を書こう。</p>	IWB (指導者)	<p>【新たに書きこまれたコラボノートのページが全体で共有できるようにする。】</p>
展 開	<p>個別学習</p> <p>○コラボノートのワークシートに観点ごとに言葉を書きこむ。</p> <p>観点一・においや色，音が感じられる言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たとえや様子を表す言葉 ・話し言葉に方言 ・地の文が一人語り ・書きだし 	TPC (児童) IWB (指導者)	<ul style="list-style-type: none"> ・特徴のある表現例を用意し，自分の物語に合った工夫ができるようにする。
ま と め	<p>協働学習</p> <p>○表現の効果を考えたり，確かめたりして物語を書く。</p> <p>○気がついたことや思ったことを発表する。</p> <p>○次回の予告をする。</p>	IWB (指導者)	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの書き込みを読んで，自分の物語にふさわしい表現の効果を，さらにひろげて考えられるようにする。 <p>(評価の観点：書) 自分の物語にふさわしい表現の効果を考えたり，確かめたりして物語を書いている。 <コラボノート，作品></p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年生に向けて発表できるようにする。 <p>【書きこまれたコラボノートのページが全体で共有できるようにする。】</p>

7. 準備物

教材提示装置，IWB，TPC，プロジェクター，プロジェクター型IWB，デジタル教科書，コラボノート